



令和2年3月24日
内閣官房
(東京オリンピック・パラリンピック
推進本部事務局)

【お知らせ】

安倍総理大臣とバウハ国際オリンピック委員会会長との電話会談

本24日午後8時00分から約45分間、安倍晋三内閣総理大臣は、トーマス・バウハ国際オリンピック委員会（IOC）会長（Mr. Thomas BACH, President of the International Olympic Committee）と電話会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。（森東京2020組織委員会会長、小池東京都知事、菅内閣官房長官、橋本東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣他同席。）

1. 双方は、アスリート、IF（各国国際競技連盟）、NOC（各国オリンピック委員会）等の意向に鑑み、大会中止が選択肢にはないことで一致しました。
2. その上で、双方は、アスリート及び観客の安心・安全を確保することが最も重要であり、この観点から、現在の世界の状況が継続的に悪化していることに鑑み、予定どおり本年7月に開催することは不可能であり、更には年内に開催することも不可能であり、延期とせざるを得ない旨一致しました。
3. 上記の理解の下、双方は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実施に向けて、IOCと、東京2020組織委員会、政府、東京都を始め、内外の関係機関が一体となり、遅くとも2021年夏までの実施に向けて、具体的に検討していくことで一致しました。